

130

渡嘉敷ペーケー（へ）

（煙草は一回）

煙草ね、好きらしいさ。でね、親がね、

「お前は煙草を吸いすぎるからね」。煙管のね、昔は煙管だった。巻き煙草なんてない。煙管のね、一つだけ灰を盛ったって。

「そうかね」と言つてね、わざわざパイプの中入れてね、吸つたらしいよ。金の棒持つてね、火事みたいにやったというね。

人よりも頭のいい人間であるみたいで。それで、後
はね、殿様が、

「これはいつかはやる頭だからね」ということで、侍
の位になったらしいね。

字北波平 大城正太郎